

春季オーストラリア研修

プログラム区分	語学研修
主幹部署	世界共生学部
研修先国・地域名	オーストラリア ブリスベン
研修先	グリフィス大学
プログラム概要	<p>Purpose: Providing the students with an opportunity to improve their language skills in an English-speaking country through classes at a local university during the first two weeks.</p> <p>Living with an Australian family and experiencing cultural differences firsthand for an entire month. Experiencing work in an Australian company through an internship program during the last two weeks.</p> <p>Content: Students take English classes at the local university for the first two weeks, followed by a two-week internship program in an Australian company. Both the classes and the internship are connected to their field of studies in this department. Excursions such as a trip to a koala sanctuary where students can see and learn about Australia's fauna and local environmental issues add a meaningful yet enjoyable local experience to their trip.</p>
日程	出発予定時期：2月～3月 期間：5週間
単位認定	4単位
他学科生の受入れ	不可 受入れ可の他学科：-
語学研修の有無	有
語学研修以外の内容	有
問い合わせ先	世界共生学部
その他	<p>1～3年生対象。研修中はホームステイ。</p> <p>応募条件：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基礎英語科目とアカデミックスキルにてE・F・D評価を受けたことがない。 <input type="checkbox"/> 計4回の参加者説明会に全日程参加すること。 <input type="checkbox"/> 春休みのBC Intensive Courseへの参加必須。

体験記：世界共生学部 春期オーストラリア研修に参加して

所属学科：世界共生学科
氏名：小野萌絵子

本文（目安 600 文字）：

この研修の 1 か月は人生の中で最も充実した特別な時間でした。とにかく何でもやってみるという積極的な姿勢を自分の軸として過ごしました。バスの運転手と会話をしたり、疑問に思うことは直接質問したり、日本人と過ごすときでも英語だけを使ったり、家事を手伝ったりなど、小さなことでも今できることは取りこぼさないようにと心がけて生活をしました。積極的にコミュニケーションを取っていく中で、聞いたことがなかったオーストラリアの文化を感じることができました。ホストマザーが台湾出身であったため、旧正月のパーティーに参加したり、簡単な中国語を学んだり、台湾料理を堪能できる機会などがあり、貴重な経験となりました。他の国のことを学ぶと同時に、日本では当たり前だと思っていた価値観や習慣が当たり前ではないことに気づきました。

最後の三週間は、チャイルドケアセンターで働きました。自分で問題点のを見つけ、先生方とコミュニケーションを取る中で解決方法を自分なりにだし、挑戦していく力を身に付けることができました。また、オーストラリアと日本の働き方の違いを肌で感じる事ができ、興味深かったです。

この研修を通して、とにかくコミュニケーションを取りたいという積極的な姿勢を心がけることで、英語力向上のモチベーションができるとともに、新たな価値観が発見でき、新たな世界に飛び込み、肌で実感することの楽しさを学びました。この研修で学んだ積極性やコミュニケーション能力を活かし、日本で様々なことに挑戦していきたいです。また、少しでも早く、肌で異文化に触れる機会を作りたいです。

